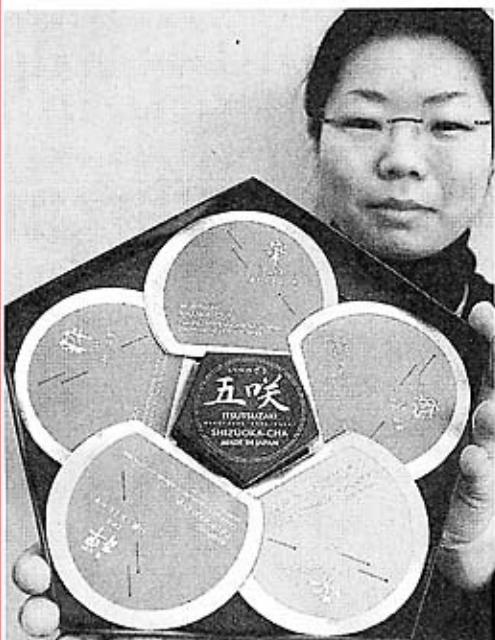


茶の产地の詰め合わせ

県商工会連

県商工会連合会は県内五産地の茶葉をセットにしたギフト商品「五咲(いつとき)」を開発した。十三日開幕の贈答品・生活雑貨の国際見本市「東京インターナショナル・ギフトショー」(東京都)への出展や、同連合会のホームページでのテスト販売を通して、市場の反応を見る。



岡市内の事業者が担当し

トにした「五咲」

県内5産地の茶葉をセッ

ギフト「五咲」 市場に問う

県内産の茶葉の消費拡大と、点在する中間産地ブランドの強化が目的。

二十三代女性をターゲットに、気軽に利用できる贈り物として商品開発を進めてきた。

静岡市清水区、岡部、

中川根、菊川、森の事業

者の茶葉を使った。それ

ぞれ小袋に入れ、五角形

の箱に花びらのように敷

き詰めた。デザインとパ

ッケージは、それぞれ静

岡市内の事業者が担当し

トにした「五咲」

県内5産地の茶葉をセッ

調査踏まえ開発

た。

各茶葉は「粹」「癒」などと名付け、「上質なお菓子を食べながら『心

身ともにリラックスした

気分に』などと茶を飲み

たくなる生活情景を提案

した。産地の位置や特徴

を紹介したりーフレット

も入れた。首都圏の専門

店・百貨店などで販売

を想定した。一袋七ヶ入

りで三千五百円。

国の小規模事業者新事

業全国展開支援事業の指

定を受けた。都心の料理

教室に通う生徒を対象に

アンケート調査の結果を

商品に反映した。

ギフトショーの出展ア

イースでは商品とともに茶

葉の展示、日本茶インス

トラクター協会県支部の

会員による茶の入れ方の実演、茶香炉で香りを漂わせる演出などで、茶の魅力を伝える。

同連合会は「市場の反応をみながら改良を加えたい。他産地にも注目が集まるきっかけになれば」と期待する。

異業種交流会に
経営者ら130人

住友生命静岡支店

住友生命静岡支店(高

崎支店長)はこのほど、

静岡市内で「スマゼイ異

業種交流会」を開いた。

県中部地区の企業経営者

約百三十人が参加し、経

営者セミナー講演を聴講

した後、交流した。

セミナー講師は日経

ビジネス編集長の井上裕氏

が務め、「日本経済再成長の条件」と題して講演した。井上氏は激変の時代を勝ち抜くため、「企



業は消費者やユーザーに今よりももう一歩近づき、顧客がどういった問題を抱えているかを知る必要が